

## デジタル人材育成の取り組み紹介

「デジタルツウシン」では、本市のデジタル化の取り組みをわかりやすく発信しています。今月は「幼児向けプログラミング教室」について、紹介します。

市では昨年度から、各地域でスマホ教室を開催しています。令和5年度からは、本市に進出してきたIT企業と県立広島大学の学生と本市が連携して、市内こども園の年長園児を対象に幼児向けプログラミング教室を実施しています。

教室では、プログラミングの基本を身につけることができるように、園児がさまざまな指示が書かれたカードを組み合わせ、絵本の上で、ロボットを動かしました。

園児からは、「楽しかった」「もっとやりたかった」「あすも続きがしたい」といった感想があり、保育士からは「集中して机に向かっていた」と好評でした。

講師（地元IT企業）からは、「園児がプログラミングの基本を理解するのが、予想以上に早く驚いた」との感想がありました。

今後も子どもたちが、デジタルに関心を持ち、論理的に考える力を育ていけるよう取り組んでいきます。



### 研修会の実施報告と 受入家庭募集説明会のお知らせ

食品衛生・安全管理講習会は毎年実施しており、食中毒の予防方法や心肺蘇生法について学びました。特に、救急車の要請に関する事について、積極的な質問があり、理解を深めることができました。

食物アレルギー研修会は、島の病院におたの古井医師と江田島市役所子育て支援課の主任栄養士を講師に迎え、近年、増加する食物アレルギーへの理解と対応方法について学びました。

緊急時に備えるため、該当の食べ物を摂取してしまった場合の症状および経過観察方法の確認をした後、アレルギー症状を一時的に緩和するアドレナリン自己注射の練習用具を用いて、注射方法や注射位置などを実際に体験しました。

次に、食品の準備や調理の際に参考となる食品表示について学びました。食品表示の対象となるアレルギーは決まっており、添加物に含まれる場合も表示の対象となることや、アレルギーフリーの食品（卵不使用

安全・安心な民泊受入を続けていくため、食品衛生・安全管理講習会と食物アレルギー研修会を行いました。

vol.101

図 交流観光課 ☎0823-43-1632

のマヨネーズ風味調味料など）を使用するといった、調理時の工夫について学ぶことができました。今後も受入家庭の疑問や不安を軽減できるよう、様々な研修を実施していきたいと思えます。

#### 民泊受入説明会の参加者を募集

民泊受入って何をしているのか、どういった点が良いのかなど、現役受入家庭や過去に江田島市を訪れた修学旅行生の声も交えた説明会を開催します。

興味をお持ちの方、話だけでも聞いてみようかと思われた方は、ぜひご参加ください。

日時 11月29日(木)  
午後6時～7時30分

場所 大柿市民センター 集会室  
申込方法 交流観光課までお電話ください

※住宅宿泊事業法（いわゆる民泊新法）に基づき行う営業とは、異なりますので、ご注意ください。

### 小用地区自主防災会と鹿川まちづくり協議会が防災備品を整備

小用地区自主防災会と鹿川まちづくり協議会は、令和5年度コミュニティ助成事業（宝くじ助成金）で、発電機、リヤカー及び救助資機材などの防災備品を整備しました。これは、宝くじの社会貢献広報事業として行われるもので、宝くじの収益金を財源としています。



小用地区自主防災会



▲災害避難所用間仕切り、救助担架フレスト、蓄電池、トランシーバーなどを整備

鹿川まちづくり協議会



▲移動かまど、折りたたみ車いす、防災ガス発電機、充電式チェーンソー、救助工具セットなどを整備